

平成 23 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7030）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）台湾台中市での鳥取県 P R イベント実施事業	4,703	0	4,703				4,703	
トータルコスト	9, 496 千円（前年度：0 千円）〔正職員：0.6 人〕							
主な業務内容	台湾台中市との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体への支援等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県が交流を進めている台中県は、2010 年 12 月 25 日に現在の台中市と合併し、新しい「台中市(人口約 260 万人)」となった。

この機会を捉え、同地域との交流を拡大していくためには、これまでの台中県との交流を継続しつつ、さらに台中の中心市街地においても本県の知名度向上を図る必要がある。

そのため、台中市内において民間企業や関係課の予定している各種台湾関連事業をまとめて P R イベントとして実施する。

2 主な事業内容

(1) 時期 平成 23 年中（1 週間程度）＜今後台中市と協議し決定＞

(2) 場所 台中市内（コンベンション施設又は百貨店）

(3) 内容

交流分野…鳥取県 P R（伝統芸能披露、文化体験）、交流関係機関への表敬

観光分野…観光 P R、旅行商品商談会、旅行会社店頭でのキャンペーン

経済分野…物産展、企業商談会

その他…北栄町や三朝町の交流団派遣

※ 実施に当たっては台中市政府、関係団体等と連携し実施する予定

3 これまでの取組状況、改善点

○平成 20 年度に台中県内において「鳥取週間」というイベントを実施し、以下のような成果があった。

- ・台中县政府幹部、台中県産業界、台湾政府外交部などとの交流が深まった。
- ・鳥取県と台中県との相互交流拡大の大きな契機となった。
- ・物産展では初日から完売する業者が出るなど非常に好評だった。また観光展でも台湾でのコナン人気を再確認でき、コナンを利用した鳥取県への誘客活動に弾みがついた。
- ・知事訪台により台中県周辺地域での物産、観光誘致、市町村レベルの交流など、更なる交流推進の契機となった。

○今回の事業では実施エリアを台中の中心市街地を想定し、さらなる P R 効果を図る。